

春の企画展

咲き誇る牡丹、

牡丹を詠んだ作品たち

原石鼎 一
牡丹の句百句作れば
死ぬもよし

牡丹はその豊麗な大輪の花から「百花の王」「花神」とも称され、古くより人々に愛されてきました。

俳人・文人たちは、咲き誇る牡丹を愛で、朽ちた牡丹の櫛を焚き、四季折々の牡丹の姿を豊かに表現します。

大正11年(1922)、俳人の原石鼎が牡丹園を訪れたことをきっかけに、俳誌「桔槔」が創刊され、須賀川の近代俳句の幕が開きます。



石鼎筆「夜の牡丹」句幅
(個人蔵)

2021.4.28[水]~6.6[日]

AM9:00~PM5:00 入館無料



須賀川市風流のはじめ館 文化伝承の間

休館日 / 火曜日 [5/6(木)・11(火)・18(火)・25(火)・6/1(火)]
開館時間 / 9:00

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、展覧会、関連イベントが変更・中止になる場合があります。
当館ホームページで最新情報をご確認ください。

企画展関連イベント案内

[ワークショップ]

牡丹の行灯づくり

牡丹をテーマに和紙に絵を自由に描いたり、切り絵を貼ってオリジナルの行灯づくりをします。

- 日時** 5月4日(火) 午前10時～11時
- 会場** 郷学の間
- 対象** 一般・親子
- 定員** 10名※親子で1つの作品をつくります。
- 参加費** 300円
- 申込方法** 電話またはFAXでお申込みください。
定員になり次第、締め切ります。
- 申込締切** 4月30日(金)

牡丹ぬりえ

牡丹をモチーフにした作品のぬりえに、思い思いに色をつけ、自分だけの作品をつくるワークショップです。

※随時ご参加いただけます。

牡丹クイズラリー

期間中、展示作品にかかわるクイズを解いて楽しもう！全て正解した方に当館オリジナルクリアファイルまたはシールをプレゼントします。(先着50名)

展示解説

展示作品の解説を行います。

- 日時** 5月23日(日) 午後2時～2時30分
- 会場** 文化伝承の間
- 定員** 10名(事前申込制)
- 担当** 当館職員

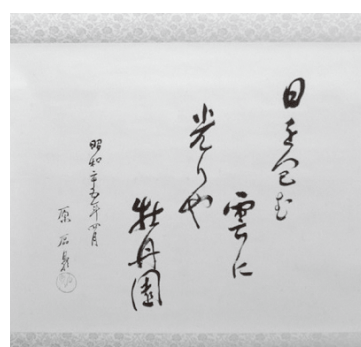
牡丹園師弟句碑
夜の牡丹落花踏まじとして立てり
北斗祭るかむなき心牡丹焚く
青帝のここだく雛をかへす日そ
小鳥来るや思ひはるけきうろこ雲

原 石鼎
柳沼破籠子
矢部 楯郎
道山草太郎



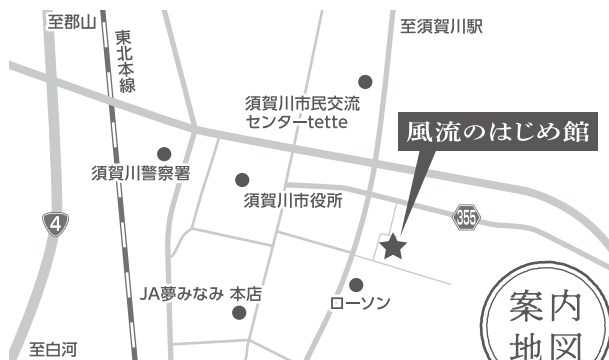
石鼎筆「日を包む」句幅
(個人蔵)

コウ子筆「黒牡丹」句短冊
(当館蔵)



主な展示品

| | |
|-----------------|-------|
| 白牡丹といふといへども紅ほのか | 高浜 虚子 |
| 日を包む雲に光りや牡丹園 | 原 石鼎 |
| 黒牡丹くづほる黒のすべもなし | 原 コウ子 |
| 両の眼に余る牡丹の花の数 | 沢木 欣一 |
| なんといふ風か牡丹にのみ吹きて | 細見 綾子 |
| 影が過ぎ人聲が過ぎ白牡丹 | 片山由美子 |



※市役所駐車場をご利用ください。